

登録コード	BSD82563	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学演習（22BS以降）				担当教員	小林 俊一	
英文授業名	Seminar in Biomedical Engineering				副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				生体医工学に関する専門分野の基礎知識、文献情報等のデータベース検索方法を修得すること，学会に参加して発信能力を習得すること		
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				修士論文テーマに関する課題設定、課題解決へのアプローチ法を身につけること		
(2)授業の概要	担当教員ごとの少人数グループに分かれて、生体医工学の各専門分野に関連した技術文献、研究論文、専門書などを取り上げ、演習参加学生が輪番で講義ないしは発表し、討論を行う。						
(3)授業計画	毎週１コマ行う。 詳細は開始時に説明する。 内容は修士論文テーマなどと連動している。						
(4)成績評価の方法	課題として与えられたプレゼンテーションやレポートの内容、討論への参加状況を総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	プレゼンテーションやレポート，討論への参加が， ・生体医工学に関する専門分野の基礎知識の修得 ・文献情報等のデータベース検索 ・関連論文の読解・要点説明・問題点 ・修士論文テーマに関する課題設定・課題解決へのアプローチ に資していることかによって評価する。 極めて高いレベルは「秀：100-90点」高いレベルにあれば「優：89-80点」、十分なレベルにあれば「良：79-70点」、最低限の達成目標を満たせば「可：69-60点」、不十分であれば「不可：59点以下」とする。						
(6)事前事後学習の内容	関連文献調査，事前配布資料の熟読，プレゼン担当時における配布資料の作成，プレゼンテーション資料の作成と発表練習，演習時に明らかになった不明瞭点の調査などを行う。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従うこと。						
(9)その他	学術的な資料を読みこなし、その内容を聴講者に説明するという形態を取ることが多い。適切な説明をするためには相当量の調査と準備が必要になる。本演習を通じて自らの知識を深め、広げること。参加メンバーに理解してもらうためのわかりやすい発表スキルを身につけること。どれだけ精力を注いで準備をするかによって、学生諸君の知識と能力の向上に差が出ると言ってもよい。						
【教科書】	担当教員の指示による。						
【参考書】	担当教員の指示による。						